

オリンピック先生



くろいわ としゆき

黒岩 敏幸 先生

【スケート／スピードスケート】

- 生年月日 1969年2月27日
- 出身地 群馬県嬭恋村
- 出身校 嬭恋村立嬭恋中学校－
群馬県立嬭恋高等学校－
日本大学



プロフィール

スケートが盛んな地元で幼少時よりスケートに慣れ親しみ、小学4年時より本格的に競技に取り組む。高校3年時のインターハイで2位に入賞、大学4年時の世界スプリント選手権大会では総合3位の成績を収める。1992年アルベールビル大会に出場し、500mで銀メダルを獲得。続く1994年リレハンメル大会、1998年長野大会と3大会連続での出場を果たす。現役引退後は、JOCアスリート専門委員、JOCゴールドプラン委員、JOC環境アンバサダー、日本スケート連盟アスリート委員会副委員長、日本スポーツ仲裁機構理事を歴任し、競技の普及や後進の育成に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

1992年	アルベールビル大会	500m	銀メダル
		1000m	9位
1994年	リレハンメル大会	1000m	11位
1998年	長野大会	500m	16位

<国際大会>

1991年	世界スプリント選手権大会	総合 3位
-------	--------------	-------

スケート／スピードスケート

スピードスケートは1周400mのリンクでどれだけ速いタイムで滑ることができるかを競う競技です。短距離はスタートダッシュでいかに速くトップスピードに乗り、そのスピードをコーナーワークでの技術により加速できるかどうかをキーとなります。長距離は、ペース配分をしながら巧みなラップを刻み、粘り強い体力、スケーティング技術を要する種目です。



オリンピック先生



いのうえ ともひろ

井上 智裕 先生

【レスリング】

- 生年月日 1987年7月17日
- 出身地 兵庫県神戸市
- 出身校 神戸市立西代中学校－
育英高等学校－
日本体育大学



プロフィール

レスリングの指導者だった父の影響を受け、小学1年時からレスリングを始める。大学卒業後は母校に就職し教員を続けながらロンドン大会を目指す。国内選考会で敗れ、一度は現役を引退する。2012年全日本選手権で初優勝し、その後現役に復帰。2014年・2015年の同大会に於いて2連覇を成し遂げ、2016年リオデジャネイロ大会への出場を果たす。現在は企業に勤務しながら現役を続け、講演会等にも積極的に参加し、競技の普及に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2016年 リオデジャネイロ大会 男子グレコローマンスタイル66kg級 5位

<国内大会>

2014年	天皇杯全日本選手権大会	男子グレコローマンスタイル71kg級	優勝
2015年	天皇杯全日本選手権大会	男子グレコローマンスタイル66kg級	優勝
2014・15年	全日本社会人選手権	男子グレコローマンスタイル71kg級	優勝
2017年	全日本社会人選手権	男子グレコローマンスタイル75kg級	優勝

レスリング

レスリングの魅力のひとつは、道具も持たず、衣服をつかむこともせず、体同士をぶつけあい、技を掛け合うシンプルな競技であること。その中でパワーとスピード、テクニクが激突し、選手が互いに技を使って相手を組み伏せ、両肩をマットに押しつけようと競い合います。腰から下を攻撃と防御に使うことが禁止されているグレコローマンスタイルと、全身を攻撃と防御に使えるフリースタイルがあります。

